

小集団活動 QCサークル 目次

§1 はじめに (名古屋地裁：QCCの自主性を否定)	-----1	§7 活動のタイプと手順	-----14
		7-1. いろいろな活動タイプ	
		7-2. 活動手順	
§2 QCサークルの発足	-----2	§8 活動タイプの注意事項	-----16
2-1 全員参加	-----4	8-1 実務では混合タイプが普通	
2-2 石川肇氏の妥協		8-2 対策先行型 (逐次対策型と溜め込み型)	-----17
§3 自主性の3弊害		8-3 事後予防型	-----18
3-1 不当労働行為 名古屋地裁判決		§9 活動手順と発表手順の区別	-----19
3-2 管理職の怠慢 日常業務と日常管理		9-1 活動の手順	
3-3 改善の停滞とウソ発表の横行		9-2 発表の手順	-----21
§4 フィードバック管理	-----6	9-3 簡単な事例発表	-----23
4-1 日常管理 フィードバック 日常管理の目標		§10 特性要因図	-----24
4-2 方針管理	-----7	10-1 -誤った指導	
フィードフォワード 主観説 方針管理の目標		10-2 要因分析と原因解析 (塗装ハンガーの事例)	
§5 問題の棚卸		10-3 管理用の具体例 (事故の是正)	-----27
5-1 早速テーマに取りかかるな QDC一体管理の原則	-----9	10-4 解析用の具体例 (セミナー中止の要因)	
5-2 問題の意味		10-5 魚骨図の廃止	
§6 取りかかるテーマの選定	-----11	§11 発表と審査 自己研鑽と相互啓蒙	-----29
6-1 活動テーマの選定		§12 細谷克也氏の指導	-----30
6-2 発表テーマの選定		§13 あとがき	-----32
6-3 多数のテーマに着手するメリット	-----12		
6-4 重点管理は禁止			
6-5 優先問題	-----13		
6-6 方針管理と日常管理の厳格分離			